

銀改

銀座でわかる働き方改革

情報(第 63 号)

PART 1

令和元年度 消費税軽減税率対策窓口相談等事業

講師

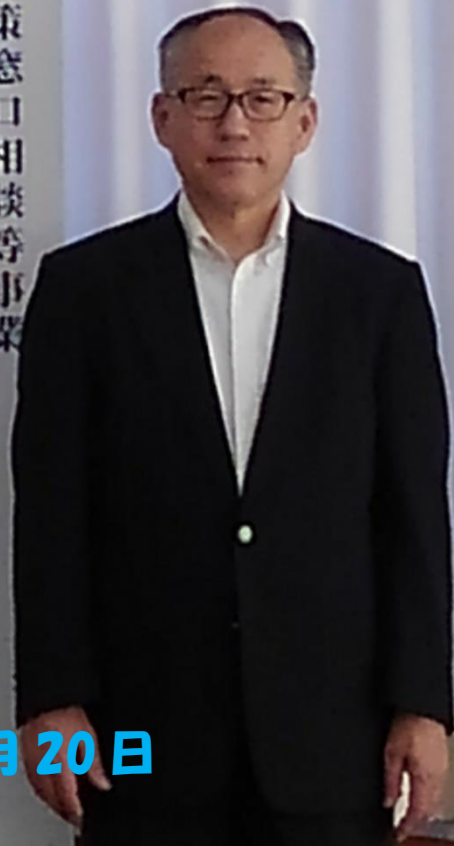
銀座社会保険労務士法人 代表

吉国 智彦

氏

「雇用の改革なくして未来はない！」

令和元年 8 月 20 日



745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階

銀座社会保険労務士法人 代表社員 吉国 智彦

TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565

E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp

URL:<https://ginza-syaroushi.com/>

働き方改革への姿勢



1 働き方改革の意義

我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっています（厚生労働省：「働き方改革」の目指すもの）、というのが一般的な説明です。

少々抽象的であることは否めません。都会では、合計特殊出生率※がとても低く、これが我が国の少子高齢化の大きな要因となっており、一方、地方では合計特殊出生率は高いのです。そうすると、働き方を変えてワークライフバランスが充実すれば、人口減少に歯止めをかけることに繋がり、若い人が増えてくれば、我が国のGDPを増加させることができるでしょう。この将来展望こそが働き方改革の核心と理解しています。

※ 一人の女性が生涯に産むことが見込まれる子供の数を示す指標。平成 28 年の全国の合計特殊出生率は 1.44 で、これを上回るのは 36 県、下回るのは 11 都道府県。合計特殊出生率が最も高いのは沖縄（1.95）、次は島根県（1.75）で、東京都は（1.24）で最も低い。

2 働き方改革の捉え方

8 月より、当職は、厚生労働省の委託事業として働き方改革をサポートする事業の担当者に参画することになり、新たな取り組み活動をしています。

わずかながら新たな出会いも生まれ、働き方改革について意見交換をすることが増えてきました。

大きな改革を罰則付きの法律改正でしていますから、「従業員へ休みだけやって何になるのか、仕事はやらなくてよいということか」「仕事があるのに帰るわけにいかない」「大企業ならできるかもしれないが末端は無理」など、一部には押し付けられた感が強くにじみ出ています。

働き方改革は、一企業だけではなく業界全体のことでもあるため、困難な局面も数多くあります。

3 勤務実態の一例

週休二日制の時代ながら、実質、休日は日曜日だけで週6日勤務という企業も珍しくありません。これ自体は、違法ではなく、ただし、48時間労働となることから（平日に時間労働がない前提）、8時間分の割増賃金の支払い、36協定を締結して労働基準監督署へ届出ですることが必要です。

しかしながら、これに頼かむりをして、割増賃金を支払わず、36協定も締結していないことが見受けられます。そもそも時間外労働をさせるには、36協定が必要となることの周知度が低いと感じます。

4 企業経営と働くことの意味

多数の企業は、営利を追求するわけで、それがなければ経済が成り立たないので、そのことは前提中の前提です。しかし、一方では、労働者のために、地域経済のために、社会貢献のために存在しています。社会保険料・子ども子育て拠出金・労働保険料をご負担いただいております、その社会貢献は大です。

労働者側では、給料のため、豊かな生活のために働く一方、仕事の中には、趣味や遊びでは得られない充実感・達成感を求めています。

一口で言うと、経営者も労働者も「儲けること」対「遣り甲斐」が「50」対「50」なのではないでしょうか。

人間には常に欲望がつきまといますし、テレビを見ればそれをそそる番組がてんこ盛りです。テレビのせいではなく、欲望があるからこそ、その番組が成立すると考えるべきで、成功したい、有名になりたい、人よりも楽な生活をしたいと思うことは、人情です。

それは無理からぬこととしても、自己のたえではなく、人のため、社会のため尽くす精神も有するべきです。偉そうなことを書いておりますが、自戒の意味を込めています。こういう立場から発想をしていくと、働き方改革についての見方も変わるではないでしょうか。

5 能力ではなく人格

以下、引用です。現代の日本社会は、人格よりも才覚や能力を基準に選ぶことを繰り返してきたけれども、リーダーの器たりえない人物、才の他には内的な規範や倫理基準に乏しい、人間的な厚みや深みに欠けた人物がトップに据えられ、社会の道徳的退廃もこのことが根幹にあると思えてなりません。

人間が本当に心からの喜びを得られる対象というものは、仕事の中にこそ味わえるもので、趣味や遊びの楽しさとは一時的なものです。仕事に懸命に打ち込むことがもたらす果実は、達成感ばかりではありません。私たちの人間としての基礎をつくり、人格を磨いていく修行の役目も果たすのです（稲盛和夫：人間として一番大切なこと「生き方」より）。

6 発想の転換

働き方改革を昇華させていくには、経営者も労働者もお互いに発想を変えてみる必要があります。

お互いに、自己のためとの考えを縮小し、他者・顧客・社会のために活動しているとの発想からスタートすれば、着眼点が変わり、改革の途も開けると思うのです。

当法人では、従業員教育などの研修を承っております。

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階
銀座社会保険労務士法人 社会保険労務士 吉国智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
URL: <https://ginza-syaroushi.com/>